

収骨の方法について

収骨方法には【全収骨】と【部分収骨】がございます。喪主様を中心にご遺族様でご相談の上、火葬日までにご決定いただきますようお願いいたします。

【全収骨】

できるだけ多くのお骨を骨壺に入れます。骨壺に入れる際に、お骨を細かくする場合がございます。東日本で多く見られる方法で、当斎場でも多く選ばれています。

【部分収骨】

できるだけお骨の形を崩さずに骨壺に入れる方法です。骨壺に入らないお骨が残ります。主要なお骨や思い出のあるお骨、形が綺麗に残っているお骨などをに入れていただきます。残ったお骨は当斎場が合同で供養し、埋葬いたします。関西圏など西日本で多く見られる方法です。

※ 注意点 ※

- ・【全収骨】には、大きな骨壺(おおむね6～7寸)が必要となります。
- ・宗教上の理由などにより収骨の進行内容にご希望がある場合は、事前に担当業者にご相談をお願いいたします。